

木村峰行後援会ニュース

ミュガイク
myugaiku

平成16年度第1回定例道議会



道民の生活を直撃する 道財政立て直しプラン



右
建設常任委員会での質疑
上
三月一日一般質問

事務所案内

TEL・FAX 40-2000

旭川市永山2条17丁目

<http://www.minsyu.net/my>

メールアドレス

myugaiku@r4.dion.ne.jp

お気軽にお立ち寄り下さい

北海道議会議員 木村峰行

平成一六年度予算を決める第一回定例会は、二月二四日から三月二四日の一ヶ月間開催されました。道は「財政建て直しプラン」を前面に、道の手数料・使用料の一斉値上げを提案しました。一方では、社会的に弱い立場にある難病・特殊病患、老人医療について負担増を強行しようとしています。私は、福祉・医療の後退、見直しを含め一般質問に立ちました。
(二ページに概要)

議会公報 保健福祉・医療について



一、北海道障害者基本計画について

初年度の実績について

答 1 グループホームや福祉ホームの増設や支援センターなどの増設に努めた。

答 2 障害者雇用について

法定雇用率を下回っているが、障害者の雇用に取り組んでいる企業への配慮により、福祉的雇用に限らず一般企業への雇用確保に努め、障害者の自立を推進している。

二、障害者支援費制度について

答 1 施設から地域への動きについて
地域生活への移行に向けた環境作りなど、障害のある方の生活支援に努める。

答 2 新年度予算について

一五年度比約一・五倍の一〇億円あまりを計上した。市町村などの意見を踏まえ、財源確保に努めた。

三、北海道医療給付事業の見直しについて

答 1 見直しは慎重にすべき
制度創設以来・社会経済情勢の変化に対応し見直しをした。



答 2 見直しの訂正について

障害者団体など関係者に説明し、要望についてできる限り努めている。

四、難病対策について

答 1 道単独事業の経過と役割について

答 2 原因や治療法が解明されていない疾患を対象に調査・研究を取り組んできた。

答 1 事業の取り組みの必要性について

答 2 事業発足以来三〇年が経過したが、事業の見直しを行いながら推進する。



●再質問

医療費の一律負担を強いることは、実態を踏まえた見直しとは認められない。例えば、重度心身障害者医療給付事業について所得制限に段階を設定するなど工夫すべきではないか。

答 患者負担が最も低く設定されている老人保健法に準拠して、原則一割自己負担を求めた。

●再々質問（指摘）

知事は、執行方針で「少子高齢社会に対応した、医療・福祉制度の充実を図る」と言明している。答弁は弱い立場の方々の心情を逆なでするものであり認められない。引き続き、予算特別委員会で具体的に議論を深める。

「二〇〇四年新春のつどい」

二月一九日、各地域の後援会をはじめ、労働・経済・農業各関係者や旭川市内だけでなく上川中央部から沢山参加いただき、盛会に開催されました。皆さんの期待に、しっかりとがんばっていきます。

勢いある「鏡割り」



お礼のあいさつ
松原後援会長



道政報告



イベント

旭川地区連合会
小黑会長



民主党北海道
星野幹事長

民主党副代表
桜庭さん



北海道
山本副知事

来賓あいさつ



後援会の皆さんと共に



旭川市議会議員の
皆さん



全上川農民連盟
二門委員長



木村峰行連合後援会総
会開催される。



峰崎直樹参議員からも
メッセージを頂きました。



信田邦雄参議員もかけつけ、共に
頑張る決意が述べられました。

目で観る活動報告

イラク問題を街頭で市民に訴える



町内の皆さんとお茶の間懇談会 自宅で



各地で道政報告会を開催しました比布町で



当麻町開明小 楠先輩とバドミントン

信田邦雄参議員と施設園芸祝祭



道々の整備について現地懇談会 西神楽



- ▼今後の主な日程▲
- 五月上旬 定例・常任・特別委員会
 - 五月中旬 北方特別委員会道外調査
 - 五月下旬 建設常任委員会道外調査
 - 六月 第二回定例会

木村君は高校の後輩、久しぶりにバドミントンで汗を流しました。若者達の力になってくれる木村君に期待します。



楠昌巳さん(当麻町農業委員)

木村さん期待しています。